

スポーツ × テクノロジー × モビリティ

14歳 四肢麻痺 肩が少し動く程度で首から下が一切動きません…

ADEM・脊髄損傷・急性脳症・キアリI型奇形・四肢麻痺・膀胱障害・経管栄養・食物アレルギー
ジョイスティック操作・顎操作・マウススティック・チンコントロール・NPPV・人工呼吸器・側湾



チャレンジスポーツ！に初めて参加したのは、小学2年生の頃だったかと思います。

四肢麻痺のため、首から下が全く動かない娘にとってスポーツなんて無理と諦めていましたが、チラシにある種目のかけっこなら車椅子を押して一緒に走ることができるかもしれないと考え参加したのが始まりです。

初めての環境と初対面の人々に、最初は親子共々緊張していましたが、BLACKSOXのスタッフの方々が優しく丁寧に説明してくださり、娘の気持ちが少しずつ動き始めたのが見て取れました。

初めてのかけっこはパパと一緒に走り、1位でゴールした時の彼女の輝く笑顔は今でも鮮明に思い出せます。

そして、特に夢中になったのが風船バレーでした。

唯一動かせる頭を使って、自分で風船を操作することができたのです。

この経験を通じて、他人にやってもらうのと自分の意志で実践することの気持ちの違いを学びました。

「どうせ無理だ、娘にはできない」と思っていたのですが、チャレンジスポーツ！に参加してからは、スポーツに限らずさまざまなことに挑戦したり、「どうすれば私もできるだろう？」と親子で考えるようになりました。



最初は人に【押してもらって蹴る】サッカーだったのですが、チャレンジスポーツ！で自分に合うスイッチ・コントローラで操作して電動車いすを、移動、ボールを蹴るサッカーを始めました。

みんなで楽しく遊ぶ中で電動車いす操作も慣れ、スポーツだけでなく日頃の余暇活動での移動と行動の選択肢が広がり、お姉さん、友達と一緒に【推し活】に励んでいるそうです。

(記入 NPO-BLACKSOX 西野耕太郎)